

Ⅱ 宮 崎 市 中 央 ・ 公 設 地 方 卸 売 市 場 の 沿 革

1 概 要

従来、宮崎市においては、青果 9 地方卸売市場、水産 2 地方卸売市場、塩干加工問屋 8 社が市街地に散在し、それぞれに流通圏を形成していた。各市場とも規模が小さく増設の余地がないこと等から、交通渋滞の解消や市場機能の強化等の問題を抱える一方、施設の老朽化や衛生管理等の改善対策に迫られていた。これらを解消して市民の生鮮食料品の安定供給を図るため、関係機関や関係業界と協議を重ね、昭和 5 1 年 1 2 月に、青果部は 2 社に統合、水産物部は 2 社そのままで入場することが決定し、昭和 5 2 年 7 月 1 1 日に新市場で営業を開始した。昭和 5 5 年 8 月には、市場内卸売業者を中心として市場協会が設立され、取引及び秩序関係の適正化並びに市場の活性化に努めている。

平成 7 年 1 月 2 3 日に花き部の開設が認可され、同年 5 月 2 9 日に営業を開始。その後、平成 2 4 年 4 月 1 日に地方卸売市場に転換した。また、水産物部の 2 社は、平成 2 5 年 3 月に合併し、同年 4 月 1 日に地方卸売市場に転換した。

当市場は、現在 3 9 万市民はもとより 1 0 3 万県民の生鮮食料品等の安定供給と生産地市場としての役割を担っている。なお、近年の食品流通の多様化に対応するため、令和 2 年 6 月 2 1 日に改正卸売市場法が施行された。

2 経 緯

年 月 日	事 項
昭和 4 6 年 1 1 月 1 日	宮崎市中央卸売市場開設推進協議会を設置
昭和 4 6 年 1 1 月 2 9 日	宮崎市中央卸売市場整備計画書を農林省へ提出
昭和 4 7 年 2 月 1 5 日	中央卸売市場開設区域指定（農林省告示第 6 1 号）
昭和 4 7 年 4 月 1 日	宮崎市中央卸売市場開設準備室を設置
昭和 4 8 年 5 月 1 8 日	宮崎市中央卸売市場市議会調査特別委員会を設置
昭和 4 8 年 1 1 月 7 日	宮崎市都市計画審議会で宮崎市中央卸売市場の建設位置を宮崎市新別府町に決定
昭和 4 9 年 3 月 3 0 日	宮崎市土地開発公社が先行取得した市場用地を宮崎市が買収
昭和 4 9 年 9 月 1 日	市場建設課を新設、業務係、建設係を設置
昭和 4 9 年 1 1 月 2 9 日	宮崎市中央卸売市場用地造成工事着工
昭和 5 0 年 9 月 1 日	市場建設課を市場開設課へ、庶務係を設置
昭和 5 0 年 1 0 月 1 3 日	宮崎市中央卸売市場建設工事起工式
昭和 5 2 年 3 月 3 1 日	宮崎市中央卸売市場竣工
昭和 5 2 年 4 月 1 日	機構改革により市場開設課が宮崎市中央卸売市場に、宮崎市中央卸売市場運営協議会設置
昭和 5 2 年 6 月 2 6 日	宮崎市中央卸売市場開設認可（農林省指令 5 2 食流第 3 2 2 3 号）
昭和 5 2 年 6 月 2 6 日	開場式
昭和 5 2 年 7 月 1 日	機構改革により宮崎市中央卸売市場から管理課、業務課へ
昭和 5 2 年 7 月 1 1 日	青果部、水産物部業務開始
昭和 5 2 年 8 月 3 0 日	宮崎市中央卸売市場自治協議会設立（市場協会設立に伴い 5 5 . 8 . 6 解散）
昭和 5 4 年 4 月 2 日	機構改革、中央卸売市場部独立（管理課、業務課）
昭和 5 5 年 8 月 6 日	宮崎市中央卸売市場協会設立
平成 7 年 1 月 2 3 日	花き部開設認可（農林水産省指令 6 九生第 1 4 5 9 号）

年 月 日	事 項
平成 7 年 5 月 2 9 日	花き部業務開始
平成 9 年 7 月 1 8 日	宮崎市中央卸売市場開設 2 0 周年記念式典開催・2 0 周年記念市場まつり実施（平成 9 年 1 1 月 2 3 日）
平成 1 1 年 4 月 1 日	機構改革、中央卸売市場部管理課及び業務課を農政部市場課へ統合
平成 1 4 年 1 1 月 2 3 日	宮崎市中央卸売市場開設 2 5 周年記念市場まつり実施
平成 1 5 年 4 月 1 日	機構改革、青果係、水産物係、花き係を業務係へ統合
平成 1 9 年 7 月 7 日	市場開放（試行）
～ 9 月 2 2 日	第 1 ・ 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 1 9 年 1 1 月 3 日	宮崎市中央卸売市場開設 3 0 周年記念市場まつり実施
平成 2 0 年 5 月 1 7 日	市場開放
～平成 2 1 年 3 月 2 1 日	第 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 2 1 年 5 月 1 6 日	市場開放
～平成 2 2 年 3 月 2 0 日	第 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 2 2 年 9 月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成 2 3 年 3 月	第 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 2 2 年 1 1 月 2 1 日	「市場へこんね！」まつり
平成 2 3 年 4 月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成 2 4 年 3 月	第 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 2 4 年 3 月 2 7 日	宮崎市花き地方卸売市場開設許可（宮崎県地方卸売市場第 7 8 号）
平成 2 4 年 4 月 1 日	宮崎市花き地方卸売市場業務開始
平成 2 4 年 4 月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成 2 5 年 3 月	第 3 土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成 2 4 年 1 1 月 3 日	宮崎市中央卸売市場開設 3 5 周年記念市場まつり実施
平成 2 5 年 3 月 2 9 日	水産物部が地方卸売市場開設許可（宮崎県地方卸売市場第 9 1 号）
平成 2 5 年 4 月 1 日	宮崎市花き地方卸売市場を、宮崎市公設地方卸売市場に名称を変更（水産物部・花き部）
平成 2 5 年 4 月～	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）第 1 ・ 3 土曜日
平成 2 5 年 1 1 月 2 3 日～	常時市場開放（関連商品店舗・食堂街：10:00～14:00）
平成 2 9 年 1 1 月 7 日	宮崎市中央卸売市場開設 4 0 周年記念式典
平成 2 9 年 1 1 月 1 2 日	宮崎市中央卸売市場開設 4 0 周年記念市場まつり実施
令和 2 年 6 月 5 日	宮崎市中央卸売市場農林水産大臣認定（2 食産第1001号）
令和 2 年 6 月 2 1 日	宮崎市地方卸売市場宮崎県知事認定（26130-1132）
令和 4 年 1 1 月 2 7 日	宮崎市中央卸売市場開設 4 5 周年記念コロナ復興支援市場まつり実施
令和 5 年 4 月 1 日	市場開放（関連商品店舗・食堂街）の時間を変更（10：00～14：00→7：00～15：00）
令和 7 年 6 月～	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）第 1 ～ 4 土曜日

3 会社設立

年 月 日	事 項
昭和５２年 ４月 ２１日	宮崎中央青果(株)及び宮崎青果(株)２社の営業譲渡について、公正取引委員会受理
昭和５２年 ５月 ２日	「宮崎中央青果株式会社」設立。(宮崎県園芸(株)、宮崎西部青果(株)、宮崎北部青果(株)、宮崎合同青果(株)、(有)大淀青果市場、５社出資)
昭和５２年 ５月 ２５日	「宮崎青果株式会社」設立。(丸果宮崎青果(株)、(株)丸印産商、(資)永野商店、宮崎青果商業(協)、４社出資)
昭和５２年 ６月 ９日	宮崎市中央卸売市場冷蔵株式会社設立
昭和５２年 ７月 ５日	宮崎中央市場バナナ株式会社設立
昭和５２年 ８月 ２６日	宮崎市青果仲卸協同組合設立
昭和５２年 ９月 ９日	宮崎市中央卸売市場水産仲卸協同組合設立
昭和５２年１１月 １日	宮崎市中央卸売市場水産物部買参人事業協同組合設立(現 宮崎水産物買参人組合)(令和６年３月３１日解散)
昭和５２年１１月 ２４日	宮崎青果小売商業協同組合設立
昭和５２年１２月 ２１日	宮崎市中央卸売市場精算株式会社設立(青果部)
昭和５５年 ５月 １２日	宮崎市中央卸売市場水産物精算株式会社設立
平成 ７年 ３月 ９日	株式会社宮崎中央花き設立
平成 ７年 ５月 ２６日	宮崎市中央卸売市場花き部精算株式会社設立(現 ㈱宮崎中央花き精算部)(令和６年６月３０日解散)
平成 ７年 ６月 ８日	宮崎中央花き事業協同組合設立(現 宮崎中央花き花商組合)
平成１７年 ７月 １日	宮崎市鮮魚仲卸組合設立
平成２５年 ３月 ２０日	株式会社宮崎魚市場と株式会社宮崎中央魚類が合併し、「株式会社宮崎魚市場」となる。

4 歴代市場長

初代 清 隆 夫	昭和５２年 ７月 １日～昭和５３年１０月３０日	１４代 新 名 典 忠	平成１５年 ４月 １日～平成１８年 ３月３１日
２代 岩 永 正 穂	昭和５３年１１月 １日～昭和５３年１１月２４日	１５代 清 則 幸	平成１８年 ４月 １日～平成２１年 ３月３１日
３代 濱 田 政 信	昭和５３年１１月 ２５日～昭和５４年 ４月 １日	１６代 外 薗 進 市	平成２１年 ４月 １日～平成２２年 ３月３１日
４代 吉 田 三 男	昭和５４年 ４月 ２日～昭和５８年 ５月３１日	１７代 児 玉 稔	平成２２年 ４月 １日～平成２４年 ３月３１日
５代 森 木 輝 宣	昭和５８年 ６月 １日～昭和６０年 ３月３１日	１８代 大 倉 敏	平成２４年 ４月 １日～平成２６年 ３月３１日
６代 入 田 龍 男	昭和６０年 ４月 １日～昭和６２年 ３月３１日	１９代 安 樂 和 寿	平成２６年 ４月 １日～平成２９年 ３月３１日
７代 黒 木 達 郎	昭和６２年 ４月 １日～平成 元年 ３月３１日	２０代 小八重 和 久	平成２９年 ４月 １日～平成３０年 ３月３１日
８代 原 幸 男	平成 元年 ４月 １日～平成 ３年 ３月３１日	２１代 吉 田 工	平成３０年 ４月 １日～令和 ２年 ３月３１日
９代 守 田 達 朗	平成 ３年 ４月 １日～平成 ５年 ３月３１日	２２代 渡 邊 宜 英	令和 ２年 ４月 １日～令和 ４年 ３月３１日
１０代 杉 田 真 敏	平成 ５年 ４月 １日～平成 ６年 ３月３１日	２３代 黒 木 祐 一	令和 ４年 ４月 １日～令和 ６年 ３月３１日
１１代 戸 高 和 則	平成 ６年 ４月 １日～平成１０年 ３月３１日	２４代 岡 部 卓 朗	令和 ６年 ４月 １日～令和 ７年 ３月３１日
１２代 横 山 貞 章	平成１０年 ４月 １日～平成１２年 ３月３１日	２５代 宮 里 克 朗	令和 ７年 ４月 １日～現在に至る
１３代 大田原 睦 雄	平成１２年 ４月 １日～平成１５年 ３月３１日		